

令和4年度神奈川県立鶴見養護学校

第3回学校運営協議会開催結果

開催日時	令和5年2月7日(火) 9:30 ~ 11:50
開催会場	鶴見養護学校
参加者	8名(欠席2名)
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度鶴見養護学校第3回運営協議会 開催要項 ○「学校運営に関するアンケート」集約結果(保護者・教員) ○令和4年度鶴見養護学校 学校評価報告書(校内評価) ○当日のパワーポイント資料
委員からの意見等 概要	<p>1 学校評価部会(学校関係者評価) 視点—1年間の目標</p> <p><u>視点1—目標①</u> 保護者の高評価75%と教員の高評価53%との差について、さらに研究を推進し教員の高評価につながる系統性を示してほしい。 キャリアパスポートの活用方法は?⇒今後取り組む</p> <p><u>視点1—目標②</u> 保護者からの84%の高評価は、新書式活用への期待である。キャリアパスポートも含め、保護者との協働が必要である。</p> <p><u>視点2—目標①</u> 「相談希望票」について、個別教育計画を活用していけるとよい、また、保護者に学校の様子がわかりにくいので、工夫が望まれる。</p> <p><u>視点2—目標②</u> 高等部保護者の評価が他学部より低い様子について、合わせた教科の教科別のねらいを示し、身につけたい力として説明できるとよい。</p> <p><u>視点3—目標①</u> 保護者の高評価は29%と低く、保護者への周知・広報をすすめてほしい。 鶴見養護学校でのキャリアを放課後等デイサービスや卒業後に連携・移行させることで落ち着いて過ごせている。</p> <p><u>視点3—目標②</u> 保護者の高評価は67%で、さらに個々に寄り添った指導や保護者間の交流による情報交換が必要である。学校の作業学習が将来的な就労につながるよう取り組んでほしい。</p> <p><u>視点4—目標①</u> 「おおむねできた」の表現がわかりづらく具体的に示してほしい、発信し続けることが大切である。できそうなことだけでなく、やりたいことを目標設定すると学校に活気ができるので、やりたいことも目標設定して欲しい。</p> <p><u>視点4—目標②</u> 地域貢献の今後の方向性をおしえてほしい、後援会・学校運営委員会を活用して地域との協働を検討してほしい。</p>

視点5－目標①

防災についても地域と学校の連携が必要で、そのためには日頃からの地域とのコミュニケーションが大切である。

視点5－目標②

難しいテーマであるが、業務精選・効率化に引き続き取り組んでほしい、保護者の90%以上から「毎日通わせたい学校」との回答を得ていることに自信をもって取り組んでほしい。

2 学校設置部会

① キャリア支援部会

話題 「地域で豊かに生きる」を目指して、現在、「身につけたい力」をキーワードに整理をしている。

・子どもたちの暮らし（生活）の中での実態を知ることが第一ではないか。そうすることで、キャリアパスポートにもつながるのではないか。

・『どの段階の豊かさ』を考えているのかを保護者と共通理解しておくことが重要

・地域で生きていくには、地域に知ってもらうことが大切と考えている。知ってもらえれば手助けをしてもらえるので、積極的に地域に出るようにしている。

・“地域に出る”、これは学校のテーマでもあるはず。

・学校の周りだけでなく、居住している地域を意識することが大切。

・“地域社会”の捉えが広すぎていないだろうか。その人が生きていく場で、何が必要なのかを考えることが大切なのではないか。『身につけたい力』を『勉強』として捉えてはいないか。キャリア教育につながらないのはそれが原因でもあるのでは？『身につけたい力』と『キャリア教育』はつながるのだということを学校として、もっと発信していくべきである。

② 地域活動協働部会

話題 地域との協働・地域とのつながり方について

・地域に参加できるものは沢山あるので、不特定多数の地域の人にアピールすることが大事である。

・学校の教育活動への協力を求めるとともに一方通行ではなく、学校からも地域に返せる関係を作っていけるとよい。

・コロナ前は、学校と地域の様々なつながりがあった。

・全体会にあった、校内の学習が進路先にどうむすびについているかという視点でも地域とつながっていきたい。

3 まとめ

学校評価部会、学校設置部会ともに大事な視点を共有し、次年度への具体的な取組内容がみえてきた。コロナの収束を見据えて、本日の学びを来年度に活かしていきたい。